



1月中旬、3学年の課題研究「ソーシャルビジネス」では、豊島区西池袋にある豊島区立郷土資料館を訪問しました。豊島区では「豊島大博覧会～過去から学び、今日を生き、未来に希望～」とう区制90周年特別展が開催されており、初めの30分間は特別に学芸員の方に説明をしていただき、明治中期から戦後まもなくまで、豊島区には牧場があったとか、豊島区にはかつて、最も多い時には都電7系統、トロリーバス3系統が走っていたなど、生徒は3年間通った豊島区の昭和・平成・令和のあゆみを、300点以上の郷土資料、美術・文学作品とジオラマ・模型、映像で見学することができました。

生徒の感想：「豊島区の学校の生徒として、豊島区の知らない歴史を学ぶことができ、興味深かったです。また、昔ながらのものや看板、芸術と時代背景を知り、さらに深く見てみたいと思いました。」

